

平成25年度 第6回治験審査委員会 結果報告

1. 開催日時 平成25年9月20日(金曜日) 午後5時00分～午後5時40分
2. 開催場所 岐阜市民病院 第1会議室
3. 出席委員名
杉山 保幸、篠田 邦大、山田 誠、米田 尚生、後藤 千寿、佐橋 誠、中島 豊之、影山 聡、後藤 左右吉、川並 秀賢
4. 議題及び審議結果を含む主な議論の概要
 - 1) 以下の新規申請(治験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

治験

BAY1192631 (バイエル)

(日本人のMRSA感染症(皮膚・軟部組織感染症又はそれに伴う肺血症)患者におけるBAY1192631の有効性及び安全性についてリネゾリドと比較検討することを目的として他施設共同、前向き、実薬対照、無作為化、非盲検比較試験)

審議結果：承認(但し、指示に従い、同意説明文書の修正をすること。)

治験

S-888711 (塩野義)

(S-888711の慢性肝疾患による血小板減少患者を対象とした第3相臨床試験—観血的侵襲術施行予定患者での検討—)

審議結果：承認

- 2) 以下の新規申請(製造販売後臨床試験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、製造販売後臨床試験実施の妥当性について審議した。
申請なし
- 3) 以下の新規申請(自主研究)において、自主研究実施の妥当性について審議した。
申請なし
- 4) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験期間が1年を超えるため、試験を継続して行うことの妥当性について審議した。
報告なし
- 5) 以下の治験において、当院で発生した重篤な有害事象に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
報告なし
- 6) 以下の製造販売後臨床試験において、当院で発生した有害事象に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
報告なし
- 7) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、国内・国外で発生した重篤な副作用について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

治験

ABT-450/R+ABT-267 (アッヴィ合同会社)

(C型慢性肝炎患者を対象としたABT-450/r と ABT-267 の併用療法の非盲検無作為化第II相試験)

審議結果：承認

治験

AG-013736 (アキシチニブ) (ファイザー)

(1 レジメンの抗血管新生療法に治療脱落した進行肝細胞癌患者を対象としてアキシチニブとプラセボを比較する二重盲検、無作為化、多施設、国際共同試験)

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(未治療ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に、ペグインターフェロン α -2aおよびリバビリン併用下で、BI 201335 NA 120mgを1日1回(12または24週間)、またはBI 201335NA 240mgを1日1回12週間投与する、二重盲検、ランダム化、プラセボ対照第III相試験)

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(標準治療(ペグインターフェロン α およびリバビリン [PegIFN/RBV]) 抵抗性のジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に、PegIFN/RBV併用下で、BI 201335NA 240 mgを1日1回12または24週間投与する、二重盲検、ランダム化、プラセボ対照第III相試験)

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象とした、ペグインターフェロン α -2bおよびリバビリン併用下におけるBI 201335 NA投与時の安全性、有効性および薬物動態の検討)

ーコホート1：未治療患者にBI 201335 NA を12週間または24週間投与するランダム化、二重盲検試験

ーコホート2：標準治療抵抗性患者にBI 201335 NAを24週間投与するオープンラベル試験)

審議結果：承認

治験

BI207127NA、BI201335NA (faldaprevir) (日本ベーリンガーインゲルハイム) 2

(ペグインターフェロンでの治療不適格患者を含む未治療のジェノタイプ1 b型 HCV 持続感染患者を対象に BI 207127 NA と faldaprevir および ribavirinを投与する、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、第III相試験)

審議結果：承認

治験

BMS-650032/BMS-790052 (ブリストル・マイヤーズ)

(ジェノタイプ 1 b の C 型慢性肝炎未治療患者を対象とした Asunaprevir と Daclatasvir 併用療法のテラプレビル療法に対する第 3 相比較試験及び再燃患者を対象とした有効性と安全性の検討)

審議結果：承認

治験
DE-766 第一三共

(切除不能局所進行肺扁平上皮癌に対する DE-766+シスプラチン/ビノレルビン+胸部放射線同時併用療法のプラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

治験
DR-3355inj (第一三共製薬)
(DR3355 注射剤の尿路感染症を対象とした比較試験 (第Ⅲ相))

審議結果：承認

治験
EMD 5 3 1 4 4 4 / C Y - M S J (メルクセローノ)
(化学放射線療法後の切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌患者を対象とした EMD531444 (L-BLP25 又は BLP25 リポソームワクチン) の第 I / II 相臨床試験)

審議結果：承認

治験
GS-7977 (パレクセル・インターナショナル株式会社)

(未治療又は前治療のある日本人の Genotype 2 の慢性 C 型肝炎 (HCV) 患者を対象とした、Sofosbuvir+リバビリン 2 剤併用下における有効性及び安全性を検討する第Ⅲ b 相、多施設共同、オープンラベル試験)

審議結果：承認

治験
KRN 3 2 1 (協和発酵キリン)

(KRN 3 2 1 第 II 相並行群間比較試験—骨髄異形成症候群患者を対象とした KRN 3 2 1 の並行群間比較用量反応試験—)

審議結果：承認

治験
MP-424 (田辺三菱製薬)

(MP-424 の C 型肝炎 (Genotype 2 : 再燃例) を対象とした臨床試験
ペグインターフェロンアルファ 2b (遺伝子組換え) 及びリバビリンとの併用試験)

審議結果：承認

治験
MP-424 (田辺三菱製薬 東レ)

(MP-424 の C 型肝炎 (Genotype 1 : 初回治療例及び再治療例、Genotype 2 : 再治療例) を対象とした臨床試験 インターフェロンベータ及びリバビリンとの併用試験)

審議結果：承認

治験
NIK-333 (興和)

(NIK-333 (ペレチノイン) のC型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象に肝細胞がん再発に対する有効性及び安全性評価を目的としたプラセボ対照, 多施設共同, 無作為化二重盲検第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

治験
RAD001 (ノバルティスファーマ)

(ソラフェニブ治療後の進行性肝細胞癌患者を対象として RAD001 の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相ランダム化, 二重盲検, プラセボ対照, 多施設共同試験—EVOLVE-1 試験)

審議結果：承認

- 8) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、変更申請及び添付資料に基づき、引き続き試験を行うことの妥当性について審議した。

治験
AG-013736 (アキシチニブ) (ファイザー)

(1 レジメンの抗血管新生療法に治療脱落した進行肝細胞癌患者を対象としてアキシチニブとプラセボを比較する二重盲検, 無作為化, 多施設, 国際共同試験)

[・国内治験実施体制：第14版]

[・契約書：実施期間延長]

審議結果：承認

治験
EMD 5 3 1 4 4 4 / CY-MS J (メルクセローノ)

(化学放射線療法後の切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌患者を対象とした EMD531444

(L-BLP25又はBLP25リポソームワクチン)の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験)

[・契約書：第2条(7)施設への支払いに関する業務]

審議結果：承認

治験
MP-424 (田辺三菱製薬 東レ)

(MP-424 のC型慢性肝炎 (Genotype 1：初回治療例及び再治療例, Genotype 2：再治療例)を対象とした臨床試験—インターフェロンベータ及びリバビリンとの併用試験)

[・治験実施計画書 別紙4：海外臨床試験の結果より見直し]

[・治験参加カード]

審議結果：承認

- 9) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験の終了(中止)報告がされた。

治験
アムルピシン塩酸塩 (大日本住友製薬)

(既治療非小細胞肺癌に対するアムルピシン塩酸塩の製造販売後臨床試験(第Ⅲ相)

—ドセタキセルを対照とした比較試験—)

審議結果：了承

- 10) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、その他の報告がされた。

委託研究
JACCRO GC-07 AR

(StageⅢ治癒切除胃癌症例における TS-1 術後補助化学療法の子後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究)

[・同意説明書：軽微な修正]

審議結果：了承

その他

「本人署名の同意撤回文書の必要性と内容の検討について」議論した。